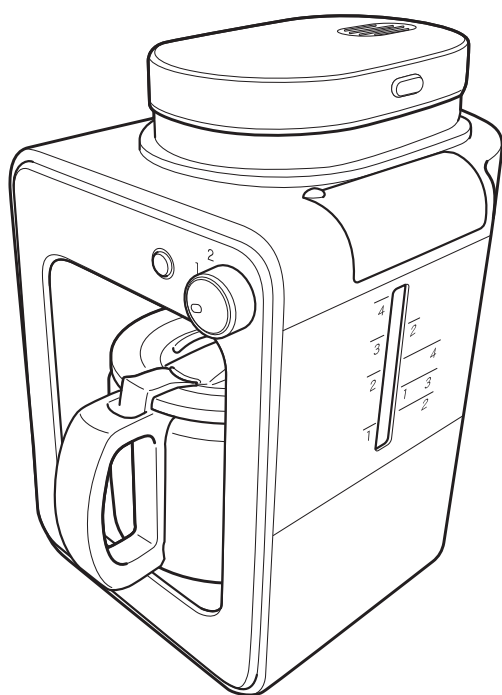
siroca
crossline

全自動コーヒーメーカー

STC-501

取扱説明書

保証書つき

このたびは siroca 全自動コーヒーメーカー STC-501 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

()：	禁止（してはいけない内容）を示します。
()：	強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告

分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。

修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

禁止

子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。

水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

接触禁止

蒸気口や保温プレートに触ったり、手や顔を近づけない

やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。

禁止

コーヒーサーバー、ミル付きバスケット、本体ふたなしで使用しない

やけどの原因になります。

禁止

落としたり、衝撃を加えたりしない

感電・故障の原因になります。

禁止

カッターの刃に触れない

けがの原因になります。

製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

＜異常・故障例＞

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない　など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。

禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは拭き取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100V 以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。

禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む　など

プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。

プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。

⚠注意

◆ 使用上の注意事項 ◆

禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない
転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
　毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など

禁止

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばで使わない
変形・故障の原因になります。

水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない
ショート・感電・故障の原因になります。

接触禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない
高温のため、やけどの原因になります。

禁止

専用のコーヒーサーバー以外は使用しない
発火・故障・やけどの原因になります。

禁止

抽出中にコーヒーサーバーをはずさない
やけどの原因になります。

禁止

コーヒーサーバーをセットしたまま本体を動かさない
コーヒーサーバーが外れて、やけど・けがの原因になります。

禁止

空だきをしない
給水タンクに水が入っていない状態で通電すると、故障・火災の原因となります。

禁止

コーヒーサーバーをセットせずに使用しない
故障・やけどの原因となります。

お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの原因になります。

プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

禁止

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない
牛乳・紅茶・酒など水以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因になります。

禁止

コーヒーサーバーが空の状態のまま保温しない
故障・火災の原因になります。

続けてコーヒーをドリップする場合は、モード切り替えスイッチを切にし、5分間休ませた後で再びドリップする
本体が熱いうちに給水タンクに水を入れたり、本体を動かしたりすると、蒸気や熱湯が噴出して、やけどの原因になります。

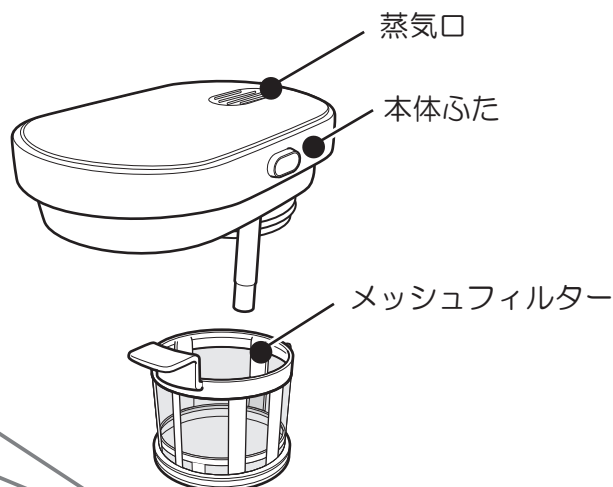
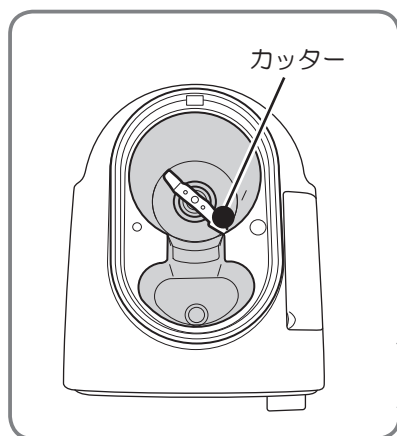
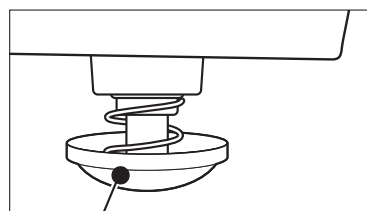
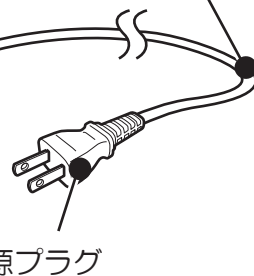
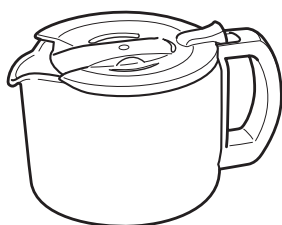
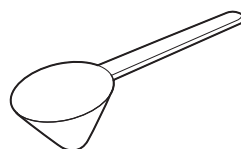
禁止

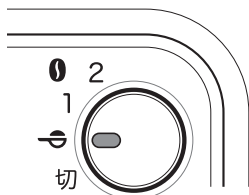
コーヒーサーバーを直火にかけたり、電子レンジで使用したりしない
取っ手が変形したり、金属部から火花が飛び散るなどの原因になります。

禁止

コーヒーサーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない
けがの原因になります。

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにする
本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因になります。

各部のなまえ

カッター
蒸気口
本体ふた
メッシュフィルター
ミル付きバスケット
メッシュフィルターを入れます。下部には、しずくもれ防止弁がついているため、コーヒーがミル付きバスケットからもれ出ないしくみになっています。
しずくもれ防止弁
ミル付きバスケット
スタートボタン
給水タンク
給水目盛
電源コード
モード切り替えスイッチ
保温プレート
コーヒーサーバー
電源プラグ
計量スプーン
（粉すりきり 1 杯約 3g）

モード切り替えスイッチについて

モード切り替えスイッチを回して、粉モードまたは豆モードに合わせると“ピッ”という音がし、スタートボタンが点灯します。

モード	使用用途
切	運転を終了する場合
	コーヒー粉からドリップする場合
1	コーヒー豆（12/15/18g）からコーヒーをドリップする場合 （「豆・粉の使用量の目安」を参考にしてください。）
2	コーヒー豆（24/33g）からコーヒーをドリップする場合 （「豆・粉の使用量の目安」を参考にしてください。）

豆・粉の使用量の目安

コーヒー粉の場合、付属の計量スプーン 1 杯につき 3g が目安です。
※コーヒー豆の場合は、はかりで計量してください。

<ホットコーヒー>

カップ数	豆・粉の量	豆モード	粉モード
1 杯	12g	1	
2 杯	18g		
3 杯	24g	2	
4 杯	33g		

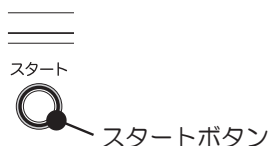
<マグカップ>

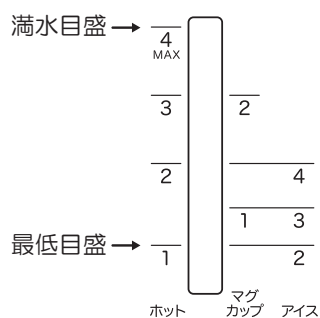
カップ数	豆・粉の量	豆モード	粉モード
1 杯	15g	1	
2 杯	24g	2	

<アイスコーヒー>

カップ数	豆・粉の量	豆モード	粉モード
2 杯	18g	1	
3 杯	24g	2	
4 杯	33g		

スタートボタン

モード設定を行ってからスタートボタンを押して、運転を開始します。

給水目盛

ホットコーヒー用（左）、マグカップ用（中）、アイスコーヒー用（右）のカップ数ごとの水量の目安を示します。

はじめてお使いになる前に

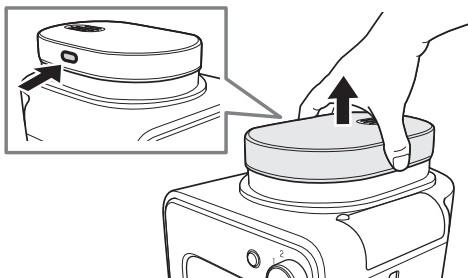
本製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、本体内部にほこりやごみなどが付着している可能性があります。以下の手順で本体内部を洗浄してからお使いください。

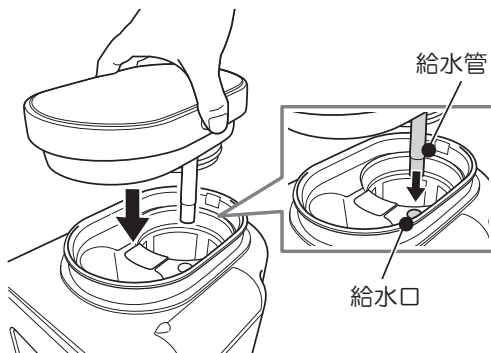
※ 本体内部の洗浄をするときは、コーヒー豆・コーヒー粉をセットしないでください。

1 本体ふた・ミル付きバスケット・コーヒーサーバー・メッシュフィルターを本体から取りはずして、それぞれを水洗いする

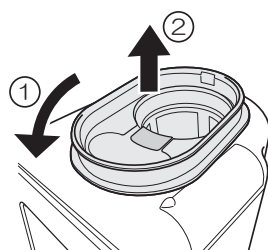
本体ふたのつけはずし

はずしかた

本体ふた側面に付いているボタンを押しながら、本体ふたを持ち上げます。

取りつけかた

本体ふたの給水管を本体側の給水口に差し込み、本体ふたとミル付きバスケットの向きを合わせて、本体ふたを取りつけます。

ミル付きバスケットのつけはずし

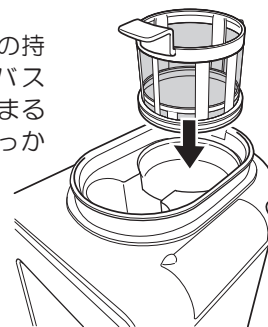
はずしかた

本体ふたを外した状態で、ミル付きバスケットを図の方向に“カチッ”というまで回転させてから、持ち上げる。

取りつけかた

はずしかたと逆の手順で行う。

メッシュフィルターのつけはずし

取りつけかた

メッシュフィルターの持ち手が、ミル付きバスケットのくぼみにはまるようにセットし、しっかりと押し込みます。

はずしかた

取りつけかたと逆の手順で行う。

2 給水タンクに満水目盛まで水を入れる

3 本体ふた・ミル付きバスケット・コーヒーサーバー・メッシュフィルターの水気を十分に取り、本体にセットする

⇒ 本体ふた・ミル付きバスケット・メッシュフィルターの取りつけについては、6ページの「はじめてお使いになる前に」を参照してください。
⇒ コーヒーサーバーの取りつけについては、8ページの「使いかた」を参照してください。

4 モード切り替えスイッチを ⊖ に合わせてからスタートボタンを押して、水だけでドリップする

※ コーヒー豆・コーヒー粉はセットしないでください。

5 モード切り替えスイッチを切にする

6 ドリップしたお湯を捨て、コーヒーサーバーを水ですすぐ

7 本体が冷めるまで待ってから、上記２～６の手順を１～２度行う

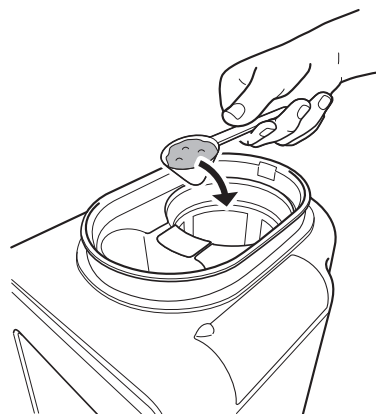
使いかた

1 本体ふたを取りはずし、作りたいカップ数分のコーヒー豆・コーヒー粉を入れる

豆・粉を入れる前に、メッシュフィルターがミル付きバスケットにしっかりセットされているか確認します。

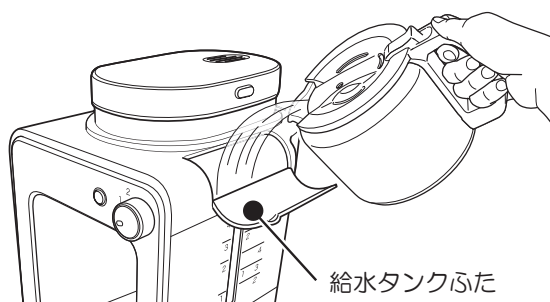
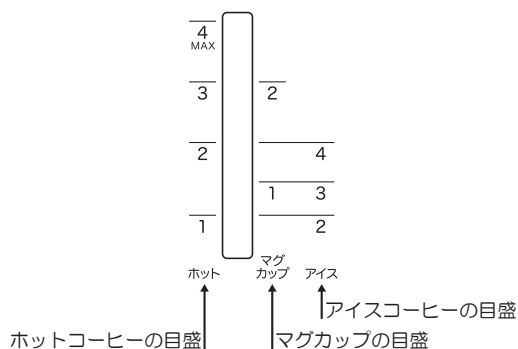
⇒ 本体ふたの取りはずし、メッシュフィルターの取りつけについては、6ページの「はじめてお使いになる前に」を参照してください。

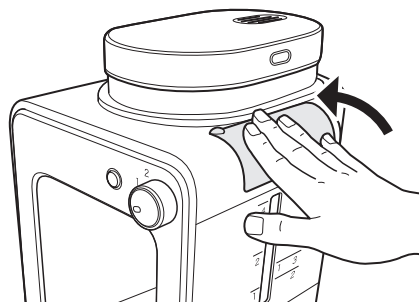
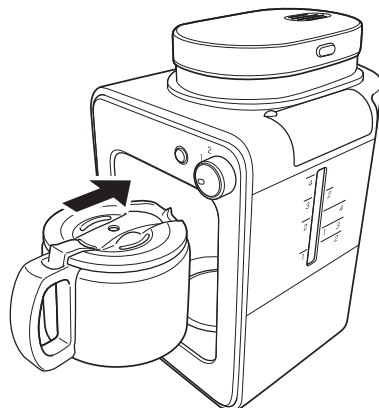
作るコーヒーのカップ数に応じたコーヒー豆・コーヒー粉を量り、メッシュフィルター内に表面を平らにして入れます。

⇒ コーヒー豆・コーヒー粉の使用量については、5ページの「豆・粉の使用量の目安」を参照してください。

2 本体ふたを取りつける

⇒ 本体ふたの取りつけについては、6ページの「はじめてお使いになる前に」を参照してください。

3 給水タンクに水を入れる

作るコーヒーのカップ数に応じた本体給水目盛の位置まで水を入れます。

※ 蛇口から直接給水タンクに水を入れないでください。
※ 給水タンクに水を入れるときは、本体に水がかからないように注意してください。また、周囲に水がこぼれないように注意してください。
※ 流し台などのぬれた場所に本体を置かないでください。底面がぬれて、故障の原因になります。
※ 満水目盛（ホットコーヒー４杯分）以上の水は入れないでください。ふきこぼれの原因になります。また、最低目盛（ホットコーヒー１杯分）より多くの水を入れてください。空だきすると、故障の原因になります。

4 給水タンクのふたを閉じる

5 コーヒーサーバーを保温プレートの上にセットする

6 電源プラグをコンセントに差し込む

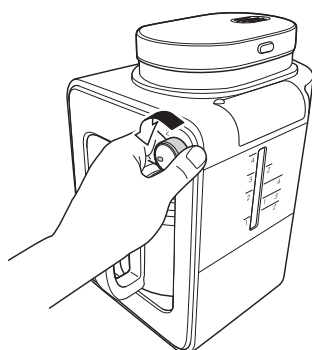
※ 定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災・故障の原因になります。

7 モード切り替えスイッチを調節して、スタートボタンを押す

使用用途に合わせたモードを設定してください。“ピッ”という音が鳴り、スタートボタンが点灯します。
⇒ モード設定については、5 ページの「モード切り替えスイッチについて」を参照してください。
スタートボタンを押すと、“ピッ”という音が鳴るとともにスタートボタンが点滅し、コーヒーのドリップが始まります。

ドリップが終了すると、“ピッ”という音が鳴り、スタートボタンの点滅が点灯に変わります。

※ 給水タンクが空の状態で、ドリップを行わないください。故障の原因になります。
※ ドリップ中は、絶対に本体のふたを開けたり、蒸気口に手や顔を近づけたりしないでください。やけどの原因になります。

8 モード切り替えスイッチを切にする

コーヒーを保温するときは

ドリップ後 30 分間は自動的に保温されます。保温を終了するときは、モード切り替えスイッチを切に合わせてください。
ただし、コーヒーは長時間保温すると、香りが飛んで風味が悪くなります。なるべく早めにお召し上がりください。

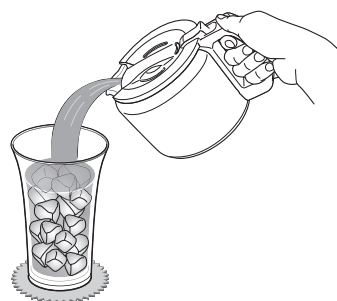
9 コーヒーを注ぐ

あらかじめカップを熱湯などで温めておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。

※ ドリップ直後のコーヒーサーバーは高温になっています。コーヒーサーバーを持つときは、必ず取っ手を持ち、金属部分には触らないように注意してください。
※ コーヒーサーバーの蒸気口からは高温の蒸気が出ます。やけどに注意してください。

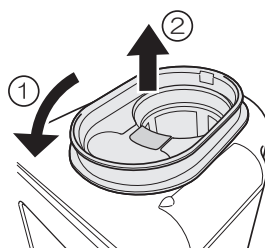
アイスコーヒーの入れかた

①「使いかた」と同じ手順でコーヒーをドリップする
※ コーヒー豆・コーヒー粉は深煎りのものをお使いください。
※ 水は、本体右側のアイスコーヒー用の給水目盛に合わせて入れてください。

② ドリップしたコーヒーを別容器に移し、あら熱を取ってから冷蔵庫に入れて冷やす
※ ドリップ後すぐにアイスコーヒーを飲みたい場合は、氷を入れたグラスにドリップしたコーヒーを注いでください。
※ お好みでシロップやクリームを加えてお召し上がりください。
※ あらかじめグラスを冷やしておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。

使い終わったら

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 本体が十分に冷めてから、ミル付きバスケット・メッシュフィルターを取り出し、ドリップ済みのコーヒー豆・コーヒー粉を捨てる

本体ふたを外した状態で、ミル付きバスケットを図の方向に“カチッ”というまで回転させてから、持ち上げて、ミル付きバスケットを取りはずします。

※ 必ず、電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからミル付きバスケット・メッシュフィルターを取り出してください。やけどの原因になります。
※ ドリップ済みのコーヒー豆・コーヒー粉は、お住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。

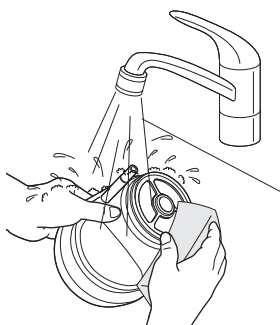
3 本体ふた・ミル付きバスケット・コーヒーサーバー・メッシュフィルターを洗う

本体ふた・ミル付きバスケット・コーヒーサーバー・メッシュフィルターは、本製品をお使いになるたびに必ず洗ってください。
⇒ 各部品の洗浄方法については、11 ページの「お手入れ」を参照してください。

お手入れ

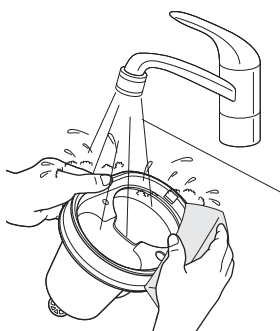
※ お手入れは、電源を切って本体が冷めた後（約 30 分後）に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
※ 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面を傷つける原因になります。
※ 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。表面を傷つける原因になります。
※ 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。
※ お手入れした各部品は、十分に乾いてから本体にセットしてください。水気が残ったまま保管すると、カビや雑菌が繁殖する原因になります。

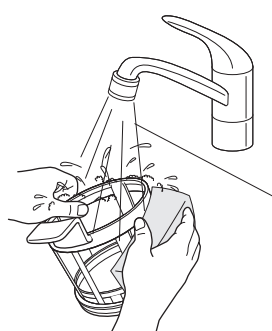
本体ふた

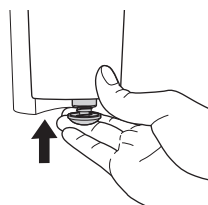
台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぎます。よく乾かしてから、本体にセットします。

コーヒーサーバー

台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぎます。よく乾かしてから、本体にセットします。

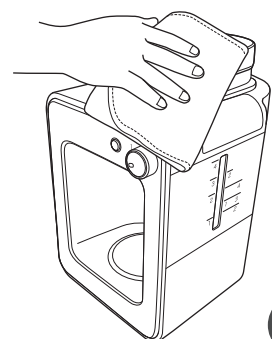
ミル付きバスケット

台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぎます。よく乾かしてから、本体にセットします。ミル付きバスケット内部にあるカッターに注意して洗ってください。

メッシュフィルター

台所用中性洗剤で洗い、水でよくすすぎます。網目に詰まったコーヒー粉は、ブラシなどで払って取り除いてください。よく乾かしてから、本体にセットします。

しずくもれ防止弁のお手入れについて

ミル付きバスケットの中に水を入れ、しずくもれ防止弁を２～３回押し上げて、汚れを洗い流します。
※ しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずにコーヒーがもれることがあります。本製品を使用するたびに、しずくもれ防止弁を必ず洗ってください。

本体外部

直接水をかけたり、丸洗いをしたりしないでください。

やわらかいふきんで拭きます。
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。

本体内部

ご使用いただいているうちに、水に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が本体内部に付着します。
これは水アカと言われるもので衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。

※ ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水を使用している場合は、ミネラル成分が付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

通常のお手入れ

やわらかいふきんで拭きます。

クエン酸洗浄（汚れがひどいとき）

※ コーヒー豆・コーヒー粉はセットしないでください。

① ミル付きバスケットを本体にセットします。

② コーヒーサーバーに水 500ml、クエン酸（10g 程度）を入れてかき混ぜます。

③ クエン酸水を給水タンクに注ぎ入れます。

④ 本体ふたを閉め、コーヒーサーバーをセットしたら、モード切り替えスイッチを に合わせて、スタートボタンを押します。
※ コーヒー豆・コーヒー粉はセットしないでください。

⑤ ドリップ後のお湯を捨て、コーヒーサーバーをよくすすぎます。

⑥ クエン酸のにおいを取るため、水を満水目盛（ホットコーヒー４杯分）まで入れて２～３回ドリップします。

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	原因	対策
・作動しない。 ・スタートボタンが点灯しない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	モード切り替えスイッチが切になっていませんか。	モード切り替えスイッチを切以外にしてください。
	本体ふたが取りつけられていますか。	本体ふたを正しく取りつけてください。
コーヒーがドリップされない。	給水タンクに水が入っていますか。	給水タンクに、作るコーヒーのカップ数に応じた分量の水を入れてください。
ドリップしたコーヒーの出が悪い。	本体内部に水アカなどが付着して汚れていませんか。	水アカなどの汚れがひどくなると、お湯の出が悪くなります。クエン酸洗浄を行ってください。
ドリップしたコーヒーがコーヒーサーバーからあふれる。	給水タンクに満水目盛（ホットコーヒー４杯分）以上の水を入れていませんか。	水は満水目盛（ホットコーヒー４杯分）以下にしてください。
ミル付きバスケットからコーヒーがもれる。	コーヒー豆・コーヒー粉を入れすぎていませんか。	コーヒー豆・コーヒー粉を入れすぎると、メッシュフィルターからあふれて、ミル付きバスケット底のしずくもれ防止弁に詰まることがあります。 入れることができるコーヒー豆・コーヒー粉の最大量は約 33g です。

こんなとき	理由
ドリップするとプラスチック臭がする。	使いはじめのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。お使いになるうちに少なくなりますが、気になる場合は１～２回水だけでドリップしてからお使いください。
電源コード・電源プラグ・保温プレートに損傷が見られる。	直ちに使用を中止して、サポートセンターへご連絡ください。
破損してしまった。	

仕様

品名（型番）	全自動コーヒーメーカー （STC-501）
サイズ（約）	幅 17.3 ×奥行 22 ×高さ 27cm
電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	600W
抽出方式	ドリップ方式

最大使用水量	0.58L
重量（約）	2.2kg（サーバー含む）
電源コード 長さ（約）	1.2m
付属品	計量スプーン
生産国	中国

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまった時は、お買い上げの販売店でお買い求めください。
または、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

品名	部品コード
コーヒーサーバー	STC-501SP
メッシュフィルター	STC-401MF
計量スプーン	SCM-401KS

長年ご使用の全自動コーヒーメーカーの点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

・ 株式会社オークセール（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残す事があります。
・ 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
（a） 修理やその確認 業務を委託する場合
（b） 法令の定める規定に基づく場合

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。
保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から 1 年未満）の修理
  保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から 1 年以上）修理
  修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から 1 年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

このコーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

＜サポートセンター＞	＜修理センター＞
TEL: 03-5413-6125 FAX: 03-5413-6128 E-mail でのお問い合わせ： info@aucsale.com 受付時間： 午前 10 時～午後 5 時 （土・日・祝祭日、年末年始および弊社指定休業日を除く）	〒 343-0032 埼玉県越谷市袋山 648-5 株式会社オークセール サポートグループ返品・修理センター

サポートセンターからのお願い

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しください。
- サポートセンターおよび修理センターの電話番号／ FAX 番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

siroca の最新情報はこちらでチェック！

siroca公式 Facebook(フェイスブック)
http://www.facebook.com/siroca.jp

チームsirocaのブログ
http://ameblo.jp/siroca/

AucSaleサポートストア
http://aucsale.jp/